

令和元年度袋井市協働まちづくり事業 採択事業一覧

No.	団体名	事業名	概要	採択結果	総合評価	担当課
1	クローバーの会	低出生体重児・多胎児とその家族への支援事業	市内の公共施設において「小さく生まれた赤ちゃんの写真展」を開催し、子育て支援にかかわる施設で、写真展のフォトブックを当事者や一般市民が閲覧できるようにする。 双子や三つ子などの多胎児は、低体重や早産で生まれてくることが多いが、市内には多胎児のサークルや多胎児について学ぶ機会が少ないことから、合同サークルや講習会を開催する。	補助	低体重児、多胎児を持つ保護者にとって、同じ悩みを持つ保護者が実施する活動で情報を得たり子育ての相談ができることは、心強いものであり、フォトブックにより広く一般に認識が広がることを目的としているため、「補助事業」として採択します。	健康づくり課
2	うぶごえ応援隊☆HINA	HINA事業の推進と連携	「HINAちゃんち」と「mamaんち」を中心に、子育て用品・リユース活動の推進を図る。 「HINAのつどい」の継続と「健康講座」の見直しを図る。 保健センターや子育て支援団体との連携をより深める。	連携	妊娠、出産、育児期の「仲間が集う場所」が提供でき、継続的に集まることにより仲間同士で問題の共有や解決が可能となります。また、市事業のアフターフォローの場としても活用ができるため、「連携事業」として採択します。	健康づくり課
3	ユースネットふくろい	若者の居場所「フォローアップミーティング袋井」	10代後半から30代までを中心に、働きたくても働けないニートや、ストレスを抱える有職者など、様々な困難を抱える若者に対する支援活動を行う。 本事業では、主に地域若者サポートステーションかけがわと連携し、就労支援を受ける若者とそれを支えるサポーターが集う「若者の居場所」づくりを行う。 このことで、「若者の雇用対策」、「貧困連鎖の防止」、「心の健康づくり」につなげる。	連携	経験によるノウハウや広報等の周知、市関係課や他のNPO等と連携をしながら実施する事業により、ニートの若者たちの自立に向けた包括的な支援につながる有意義な事業のため「連携事業」として採択します。	産業政策課

令和元年度袋井市協働まちづくり事業 採択事業一覧

No.	団体名	事業名	概要	採択結果	総合評価	担当課
4	特定非営利活動法人 静岡自然環境研究会	潜在自然植生による 海岸防災林づくり	東日本大震災の際には、クロマツを主とした防災林は、津波により壊滅的な被害を受けてしまったが、シカラシ・タブ・ヤブツバキなどの潜在自然植生の照葉樹林が残存し、津波への抵抗性が注目された。 これらの現実から、海岸防災林をクロマツから潜在自然植生である照葉樹林や広葉樹へと転換を図ることが有効であり、袋井市においても津波に対して強い抵抗能力を持つ新しいタイプの防災林を育成させることを提案し、近隣から採取した照葉樹の種子から育成した潜在自然植生の防災林を次世代に残す。	連携	補植に向けての貴重なデータ集積の場となる事業ですが、地元住民や行政との連携が必要で、植樹する樹木の選定などへの配慮も必要になります。また、経済的にできる方法や他の財源確保の検討余地があるため、「補助事業」ではなく「連携事業」として採択します。	農政課
5	小中学生の 科学教室	小中学生のプログラ ミング学習とロボット 製作	科学技術の発展が国の発展につながることから、未来を担う子供達が科学について学び将来に役に立つ講習会を行います。 本講座は、小中学生を対象とし、受講料は無償、教材費のみ実費を負担、コンピューターとプログラミングを行います。 豊橋市教育センターで使用されている教材を使用し、講師も数回お願いします。 小学生は、保護者も受講できます。	条件付 補助	「第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画」の実現に向けて、ICTの人材育成は不可欠であり、本事業は、これを推進するものですが、地域の大学・企業との連携を考慮いたしたいため、「条件付補助事業」として採択します。	ICT 街づくり課
6	ユースネット ふくろい	未来の夢を描こう 「ドリームマップ」	小学生を対象にした、キャリア教育プログラム「ドリームマップ」の講座を開催する。 自分の将来を、マップ上に4つの視点(自分の欲しいもの、なりたい状態、他者、社会)で描くことにより、自分を大切にしながらまわりの人も思いやることのできる、バランスの良い夢を描く。 事業を通じて、青少年の徳育を推進するとともに、こうした取り組みが広がるような支援者の確保と事業の啓発活動にも取り組む。	連携	本事業を通じ、子どもが将来の自分を想像し、未来の夢を描く機会に触れることは、自立力や社会力の育成にもつながることから「連携事業」として採択します。	すこやか 子ども課

令和元年度袋井市協働まちづくり事業 採択事業一覧

No.	団体名	事業名	概要	採択結果	総合評価	担当課
7	いのちの神秘を伝える助産師の会	Mama Café	妊娠・出産。育児に必要な情報提供や学びの場、経験の共有を図るための場を作り、妊婦や母親が気軽に専門的な知識を持つ助産師に相談できる環境を作ることで、妊娠期や育児期の女性の不安の軽減や妊娠うつ・産後うつの減少に寄与する。 また、施設の枠を超えて助産師が集う場ができ交流することで、連携関係がスムーズになることに繋がり、施設を超えたチームの意識を持つことができることを目的として開催する。	条件付補助	妊娠期から助産師と交流の機会を設けることは、出産・育児へのプラスイメージづくりにつながると考えられ、必要性は高いと判断しますが、事業予算を再考いただきため、「条件付補助事業」として採択します。	健康づくり課
8	社会福祉法人 なごみかぜ	りおな子ども食堂事業	地域の子ども等を対象に、子ども食堂を月1回開催し、安心・安全な食事を無料または安価に提供し、交流の場とする。	補助	「子ども食堂」のような食事の提供を通じた居場所づくりの活動は、子どもの貧困・孤食対策に有意義な事業のため「補助事業」として採択します。 また、この事業のデータを収集し、今後の活動につなげてください。	しあわせ推進課
9	(公社)袋井青年会議所	第4回 まち☆いき	市内の中高学生に、地域の歴史や特産物、地域ならではのイベントや場所などをテーマに盛り込んだ「フォトジェニック」を作成してもらい、当提案事業内で展示・発表してもらう。 作成した「フォトジェニック」に関しては、ラグビーワールドカップのエコパでも展示させていただき、来場者にふくろいをより知ってもらい、楽しんでもらいたいと考えている。	連携	市民、特に若者の地域愛やまちへの誇り、愛着心の醸成を図り、市民活動を周知できる事業ですが、イベント性の強い事業であるため、前年度事業のノウハウを活用した継続性のある事業実施と、中高校生を事業に活用する方法を検討することにより事業費の見直しが図られるため、「補助事業」ではなく「連携事業」として採択します。	協働まちづくり課

令和元年度袋井市協働まちづくり事業 採択事業一覧

No.	団体名	事業名	概要	採択結果	総合評価	担当課
10	特定非営利活動法人 ブライツ	学校と市民を繋ぐ 「教育を知らうプロジェクト」	子供の教育には、保護者や市民の協力が不可欠である。学校の取り組みや教職員の現状を市民が理解する機会を作り協力の輪を広げていく。 現在、袋井市民の20歳から64歳の人口は約5万人。この層のSNS使用者は2万4千人であり、SNSを通じて約半数の市民にダイレクトに教育に関する情報を伝えることができる。 また、自治会の会合や袋井市の行事等で名刺サイズの情報カード及びチラシを配布することで、SNS未使用者にも情報に接する機会をさらに増やしていく。	条件付き委託	幼小中一貫教育について、市民目線で、SNSを活用して多数の市民・保護者へ伝えることは、認知度を上げることに有意ですが、発信者と受信者が必要とする情報が合致するように、一過性の事業とならないように、担当課と十分に協議をすること及び賞金が最低賞金を下回っていることの見直しのため、「条件付き委託」として採択します。	教育企画課
11	ふくろい子育てネットワーク みんなのぽけ	袋井子育て支援団体連携推進事業	2019年の事業としては、団体のHPを作成し、それぞれの子育て支援活動団体のHPや情報発信を行政と協力しながら子育てママたちに提供していく。 合わせてチラシを作成し、母子手帳交付時や乳児検診等で配布し周知をしていく。 1 袋井市の子育て支援団体と情報を集めた子育てポータルサイトの作成 2 ママたちの声を集めるおしゃべりサロンを隔月開催 3 子育て講座の実施 ママたちの声を集めて、それを皆で学び、考える場を作る。	連携	活動趣旨に賛同した複数の子育て支援団体が連携して事業を実施し、交流や情報共有を行えるなど、有意義なため「連携事業」として採択します。	すこやか子ども課
12	遠州アカデミー	袋井市民を対象にした名作映画鑑賞会と公開講座の開催	・8月4日(日) 袋井親子名作映画祭の開催 ・9月～12月 公開講座の各種開催 ・来年2月9日(日) 袋井名作映画祭の開催	連携	子どもから大人まで、幅広く名作映画を鑑賞する機会が提供されることは、文化芸術の普及や青少年健全育成に有意義であり、社会課題をテーマとした公開講座の開催は生涯学習や徳育の推進につながるため、「連携事業」として採択します。	生涯学習課

令和元年度袋井市協働まちづくり事業 採択事業一覧

No.	団体名	事業名	概要	採択結果	総合評価	担当課
13	山名小及び袋井北小放課後の子ども達を見守る会	山名小及び北小児童生徒の放課後の居場所づくり	近年、放課後児童クラブの需要が急速に伸びているが施設整備が追い付いていない。 保護者が一定時間まで働き、子どもたちが安心して放課後をすごせる居場所を保護者と地域ボランティアにて運営する。	条件付補助	放課後児童クラブの需要が増えているため、現在のニーズに合致した事業であるが、事業開始まで短期間であること、運営を軌道に乗せることができるか、児童が確保できるかなど、継続的な事業の実施に向けての課題が大きいため、「条件付補助事業」として採択します。雇用(社会保障・税金関係)、開業条件について、まず、税理士・社労士などに相談をし、事業期間終了までに2年目以降のスキームが提示できるように活動をしてください。	協働まちづくり課